



# ひすい

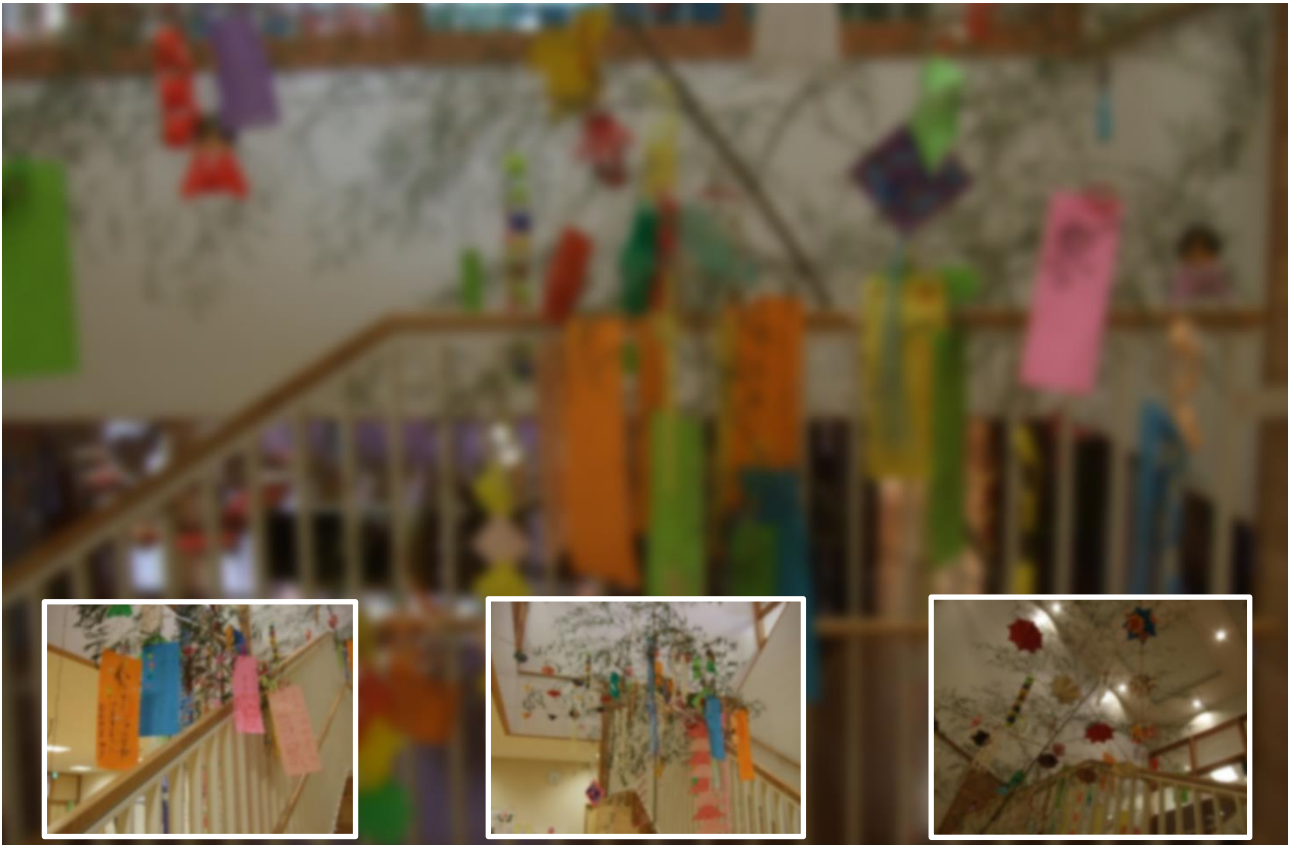
糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 7月号 (No.6)

令和2年7月10日発行



## 星に願いを!



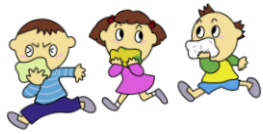
7月7日は「七夕」でした。学校では、6月下旬から笹竹（職員からの寄付）を多目的室の階段手すりに設置し、飾り付けをしました。一人一人の願いを書いた短冊、織り糸を表す吹き流し、魚を捕る網飾りなど、にぎやかで色とりどり、楽しさが溢れるものになりました。短冊に書いた願いが叶うよう子どもたち、教職員みんなで星に祈っています。ここで、子どもたちが書いた願いを5人ほど紹介します。

- ☆ げんきに ともだちと あそべますように
- ☆ きゅうしょくを のこさず たべられるようになりますように
- ☆ ひらがなが かけるようになりますように
- ☆ しょうがくぶのおもいでが いっぱい つくれますように
- ☆ みんな けんこうで いられますように

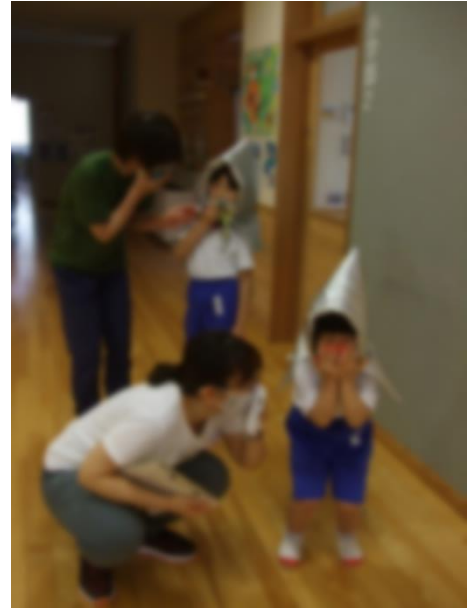


他にも、自分の夢やしたいことを書いた、その子らしい短冊がたくさんつるされています。

元々、七夕の願いは織姫にあやかり、はた織りや裁縫の上達を願うものでした。そこから、習い事などが上手になるように願い事をするようになったと言われていています。実のところ、「〇〇できるようになりますように」などと書きますが、そのために努力するのは自分です。果たして子どもたちはそのことを分かっている？他力本願ではいけないということなんです…。



# 命を守るために



6月19日(金)は糸魚川市の火災予防の日(毎月19日)で、それに合わせて、糸魚川小学校、ひすいの里総合学校の合同避難訓練(火災)を行いました。授業中に「給食室から火災が発生した」という想定で、火や煙から身を守り、安全にグラウンドへ退避するという動きです。今回は、ひすいの子どもたちは「緊急放送を聞く」→「先生の指示で防災の身なりをする」→「ハンカチで口を覆う」→「避難行動をとる」の流れだったのですが、新型コロナウイルス感染防止のために避難行動は教室を出るところまでとしました。



9時35分に緊急放送が流れると、ほとんどの子どもたちは動きを止めて放送を聞き、職員の指示に従って防災の身なりをして、教室から出て整列することができました。急な活動変更でうまく避難行動がとれない子どももいましたが、回を重ねる中で、適切な行動がとれるよう支援していきます。

## 玄関に鎮座する仲間たち



既にお気づきの方もいらっしゃるでしょうが、正面玄関を入ると、たくさんの方々が訪問者を出迎えてくれます。最近では、梅雨時に見られるカタツムリと蛙、七夕にちなんだ織り姫と彦星が登場しました。玄関を楽しい雰囲気にしようというアイデアから、職員が作り、飾ったものです。お楽しみください。